高崎芸術劇場

第15回高崎演能の会 特別公演

道成寺

下平克宏





令和2年
7月11日(土)

午後2時開演(午後1時開場)
高崎芸術劇場
スタジオシアター能舞台

※午後1時45分から手島仁氏による解説を行います

道成寺（どうじょうじ）

赤頭（あかがしら）　中之段数躙（なかのだんかずびょうし）　無躙之崩（ひょうしなしのくずし）

白拍子・蛇体	下平　克宏	鐘後見	武田　尚浩
住僧	殿田　謙吉		角　幸二郎
寺の召使	野村太一郎		木月　宣行
	野村　裕基		関根　祥丸
笛	松田　弘之		大槻　崇充
小鼓	鵜澤洋太郎	地謡	岡　久広
大鼓	安福　光雄		観世　芳伸
太鼓	小寺真佐人		浅見　重好
後見	山階彌右衛門		藤波　重彦
	坂口　貴信		藤波　重孝
	観世三郎太		川原　恵三
			新江　和人
			金子　聡哉

（終了予定　午後３時 45 分頃）

あらすじ

紀州道成寺の鐘再興の日、寺に現れた白拍子は、乱拍子を踏み、激しく舞って、鐘を引きずり落し、その中へと飛び入った。住僧は、この謎の白拍子は、かつてこの鐘に隠れた山伏を、鐘諸共に焼き殺した女の悪霊であろうと語る。そして一心に祈ると、鐘が再び上がり、中から蛇となった女が現れ、僧たちに襲いかかる。やがて僧の懸命な祈りに屈服し、蛇体は日高川の水中へと姿を消す。
小鼓とシテとの気迫漲る乱拍子から、一転して壮絶な急之舞、そして息つく暇なく鐘入りへと、見せ場満載の大曲である。

今回は三つの小書（特殊演出）にて演じます。「中之段数躙」により、乱拍子の中で踏む拍子が変わり、「無躙之崩」により、人々の眠りを覚まさぬようにという心持で、足拍子を踏まずに急之舞となります。そして「赤頭」により、後シテの装束が赤頭、腰巻出で立ちへと、変身を遂げます。


山階彌右衛門


下平 克宏


殿田　謙吉

令和2年 **7月11日(土)**　午後1時開場 午後2時開演

会　場　高崎芸術劇場　1階　スタジオシアター能舞台

入場料　[全席指定]
S席：10,000円／A席：8,000円／B席：6,000円

チケット発売

web　5/29(金)10時～
● 高崎芸術劇場メンバーズ限定（WEB登録無料）

高崎芸術劇場
プレイガイド：高崎芸術劇場メンバーズ
http://takasaki-foundation.or.jp/theatre/

電話　6/1(月)10時～　**窓口**　6/2(火)10時～

高崎芸術劇場 チケットセンター　027-321-3900（10:00～18:00）

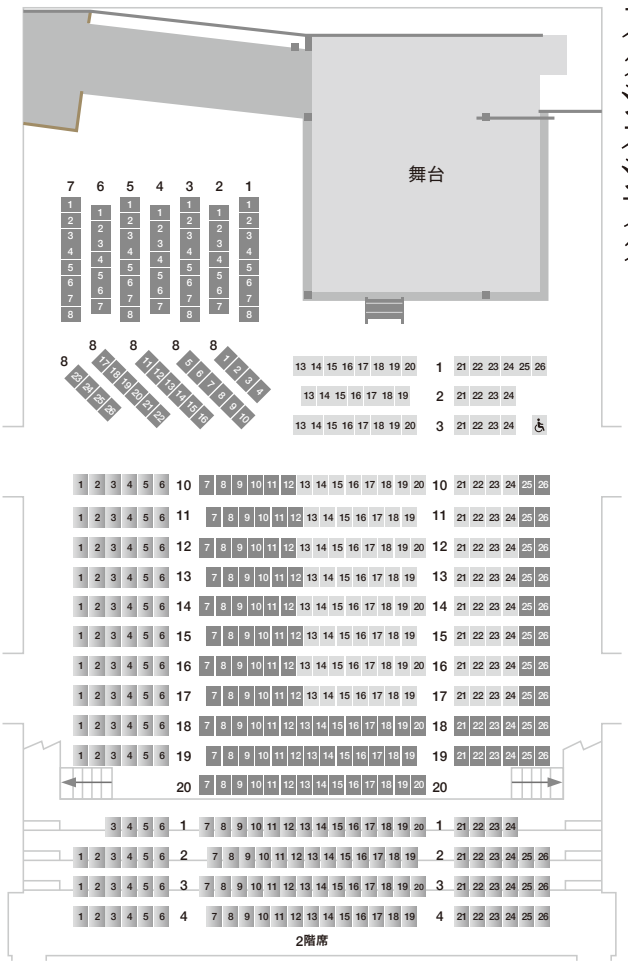
※未就学児の入場はご遠慮ください。※公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。



〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1〈JR高崎駅東口から徒歩5分〉
※専用駐車場はございません。

スタジオシアター

S席 10,000円　A席 8,000円　B席 6,000円



主催 高崎芸術劇場　一般社団法人 下平克宏演能の会

【道成寺プレ講座】①6/23(火)「紀州道成寺にまつわる、安珍・清姫伝説」　②6/30(火)「舞台に繰り広げられる、情念の世界」
各13:30～14:30高崎芸術劇場スタジオシアターにて（申し込みはチケットセンター☎027-321-3900）